

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
令和元年度 9月号
令和元年9月21日 発行



長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。

学校中に児童たちの元気な声が響きわたり、活気の蘇った校内を歩いていると、やっぱり学校はこうでなくてはと思います。「おはようございます」とあいさつする児童たちの顔は、友だちや先生に久しぶりに出会えた喜びでいっぱいでした。

それぞれに充実した夏休みを過ごしたのだろうと思います。夏休みの課題を頑張った子もいれば、家の手伝いを頑張った子もいるでしょうし、家族と旅行に出かけた子もいることでしょう。どの子も、普段の学校生活ではできない夏休みの様々な体験を通して、ひとまわり逞しくなったようです。何よりも、明るい笑顔、元気なあいさつがそれを物語っています。

ところで、毎年のことではありますが、夏休みの間に先生方が教室のワックスがけを行い、床はピカピカになっています。児童には、きれいで整った環境の中で学校生活を送って欲しいという先生方の思いの現れです。また廊下のカーペットも新しく張り替えました。

始業式では「校舎がきれいになったので、汚さないよう大切にしましょう。ゴミが落ちていたら進んで拾い、美しさを保てるように協力してください。」と児童に伝えました。

日頃から校舎や校具を大切にして、丁寧に使ってくれる児童が多いので、建設してから15年以上が経過した今でも本校の施設はずいぶんきれいです。来校者の方によく褒めていただきます。これも、児童はもちろん保護者の皆様のご協力があってのことと感謝しています。「ものを大切にし、愛着を持って丁寧に使う」という本校児童が培ってきたよき伝統を今後とも守り続けてくれたら嬉しく思います。

児童たちは現在運動会に向けて練習に励んでいます。応援の練習もこれから本格的に始まります。児童たちのきらめくパフォーマンスが見られる運動会の日が今から楽しみです。

また、秋は実りの季節です。4月に進級し、1学期で育み、蓄えた力を発揮して大きな果実を実らせていくのが2学期です。また、1年のうちでいちばん集中して勉強できるのも2学期です。児童一人一人が自分なりの目標を立て、その達成のためにあきらめることなく努力を継続できるように、ご家庭と力を合わせて教職員も誠意を持って指導に当たります。そして、大きな果実を実らせたいと思っております。2学期も保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

9～10月の学校行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
9 月	20	金	6限一斉下校	10 月	5	土	
	21	土			6	日	運動会
	22	日			7	月	(10/6の振替休日)
	23	月	(秋分の日)		8	火	感謝祭
	24	火	4限授業		9	水	
	25	水	小学部入試(家庭学習日)		10	木	
	26	木			11	金	
	27	金	中学部説明会(6年対象)		12	土	(週休日)
	28	土			13	日	
	29	日			14	月	(体育の日)
	30	月	地区別集団下校		15	火	
10 月	1	火	冬服着用(合服可) 運動会予行		16	水	
	2	水			17	木	
	3	木			18	金	
	4	金			19	土	

カレッジの1ヶ月

右のQRコードを読み取ると、小学部Webページの学校ブログにアクセスできます。是非ご覧ください。



シャボン玉 (1年生) 8月29日

生活の授業にて、身近にあるストローやうちわを使ってシャボン玉作りをしました。作ったシャボン玉を芝生で飛ばしました。



スイカ割り (2年生) 8月29日

校内の学習農園で育てたスイカでスイカ割りをしました。全員で順番に挑戦した後、みんなでスイカを食べました。



かまぼこ工場見学 (3年生) 8月29日

大寅蒲鉾株式会社 道明寺工場に行きました。蒲鉾をつくりっている現場を見学したり、そこで働いている人の思いを聞いたりすることができました。



かかし作り (4年生) 8月28日、29日

みんなで手作りのかかしを作り、校内の田んぼに設置しました。どのようなかかしを作るのかグループで相談し、立派なかかしを作ることができました。



琵琶湖フローティングスクール (5年生)

8月28日～29日

滋賀県の湖南市立三雲小学校の5年生と一緒に、琵琶湖の学習船「うみのこ」にて宿泊体験型の学習プログラムを行いました。



アジの解剖 (6年生) 8月28日、29日

理科の授業の一環として、アジの解剖実験を行いました。動物の消化管のつくりやはたらきを調べることができます。



夏休み作品展 9月7日

夏休みに児童が制作した工作作品、自由研究、絵画作品を展示し、親子で鑑賞しました。今年も力作揃いの作品展になりました。

今月の作品

8月6日（火曜日）、奈良県庁で、県内在学の10人の小学5・6年生が知事の仕事を体験する「1日こども知事」が開催されました。この取り組みは、こどもたちに奈良への愛着を深めてもらうことを目的として奈良県が毎年実施しています。

本校からは小学部5・6年生が応募し、5年1組岡本咲姫さん、6年1組石島汐恩さんがこども知事に選ばれました。応募の際の作品を掲載します。

5年1組 岡本咲姫さん

私が知事になったら、ふるさと納税で県を盛り上げたいです。

県内にたくさんある有名なお寺や神社のご朱印の引換券を返礼品にしたいです。そうすれば、ご朱印をもらいに来た人達がついでに観光や食事などもするので、多くの人に奈良県の魅力を知ってもらえます。それが奈良県の観光客の増加につながると思います。

ふるさと納税の収入で、施設をリフォームすることができます。少子化した小・中・高等学校の一部を老人ホームにして、老人と子供との交流を深めたいです。校庭の花だんのお手入れやきょう土料理の作り方を教えてもらうと、自然に一緒に過ごすことができます。それから、学校の図書室を町民や市民で利用できる図書館にしたいです。

ふるさと納税で、場所があいている施設を上手にリフォームして、みんなで使える施設にすれば、みんなが仲良く、気持ちよく暮らせる県になると思います。

6年1組 石島汐恩さん

私が知事になってやってみたい事は、奈良県三十九市町村のこども市長、こども町長、こども村長を選んでもらって、みんなで会議を開く、ということです。議題は、奈良県の課題の一つである、「人口減少問題」です。

奈良県は三分の二が山間部であり、特に過疎化が進んでいます。若い人達は、県外の便利な地域へと流れてしまい人口は減る一方です。どうしたら県民が県内にとどまってくれるか、また県外の人が奈良に移り住んでくれるかをこどもの目線で一緒に話し合いたいです。それから会議を通してネットワークを作り、奈良県民同士がもっと仲良くなりたいと思います。おたがいの住んでいる地域へ招待したり、情報交換をして交流を持ったら、みんな奈良県の良い所を知って、ずっと住みたいと思うのではないかでしょうか。

そして、これらの活動を世界へ発信し奈良県に興味を持ってもらう事につながれば良いと思います。



今月の掲示板



(1年1組)
夏の思い出とともに、赤トンボの飛ぶ秋らしい掲示板ができました。



(4年1組) 学級で大切にしたい「愛」の字を中心大きく掲げ、児童の目標や書写作品を飾った思いのこもった掲示板です。

今月の里山



↑→5体のかかしが守る田んぼでは、稲穂がどんどん膨らんできました。もうすぐ収穫できそうです。豊作を願っています。



↑3年生が植えたタマネギ。小さな玉ができ始めました。



↑今年はブドウの実は収穫できませんでした。
残念ですが、来年再チャレンジです。



↑森の中にはたくさんの果が落ちていました。